

エコたま



グリーンNEWS

多摩市民環境会議機関紙 第106号(通巻第166号)
2013年8月22日発行 発行人:清水武志朗 編集人:
井上ひさかず 〒206-0025 多摩市永山 3-9 東永山
複合施設 301 tel&fax 042-376-4572(事務局員は常
駐していません) e-mail qqh43tdd@train.ocn.ne.jp
URL <http://ecomeetingtama.blog.ocn.ne.jp>

多摩川源流キャンプ、3日間の学びは・・・



急流の場所を上流に乗り越えていく

8回目を迎えた多摩川源流体験サマーキャンプは、8月2日から4日までの3日間、山梨県小菅村をベースとして開かれた。

参加した小学生は3年生から6年生までの18人。多摩市から同行したスタッフは10名。これに現地ではNPO多摩源流こすげのスタッフが数人加わり、子どもたちの指導と安全性の確保にあたる。

いつものことながら、奥多摩駅まで電車を利用して行き、あとはチャーターしたマイクロバスが足になる。初日は村の中心を流れる小菅川の支流で、溪流のぼり。溪流は大雨などによって、容易に姿を変えていく。このため、今年は「今回が初めて」という新しいコースが選ばれた。NPOから3人のスタッフと4人のインターンの女子大生がついて、子どもたちに随伴する。



水が滝のように流れる堰堤の前で

のように水が落ちる地点がゴールだったが、ここも昨年までと景色は一緒だが別の地点。

水温は18℃で、ふだんより3℃ほど高かったとのことだが、子どもたちには実際はかなり冷たく感じられたようだ。



下山中の水場でのどを潤す子ら(左下)

2日目は笠取山の登山。ここには頂上手前に「多摩川の最初一滴」がしたり落ちる室のある水干(みずひ)という場所があり、そこを見物するための登山だ。今年は少雨のせいで、したた

りを見るには時間がかかったが、のぞき込んですぐ見られたようなラッキーな子もいた。

この山を含め、一帯は都の水源地として保護されている。だが、最近は数を増したシカの食害がひどく、植えた木などがつぎつぎに食い荒らされてしまう。このため、以前は一本一本の木の下部に樹脂の網が巻きつけられていたが、最近は野球のバックネットのように面で保護しなければならないほどになっている。深刻さがより増しているのだ。



慣れぬクワを持って畑を耕す

3日目は農業体験で、宿舎の管理人をしてきていた人の畑で行った。ここの畑もイノシシやサル被害に悩まされていて、畑を鉄板や網で覆っている。さらに、ふだんは電気を通したコードを張っているという。

参加した子どもたちはまず農地のスギナなど雑草取りから始め、クワを使って雑草取りと土の耕し、土中の石集めなどに精を出したあと、じゃがいも掘りに挑戦。この日のために管理人さんが植えていた3種類のジャガイモを3箱も掘り、家へのおみやげに分けてもらっていた。

これらの体験で参加者たちが、農家の人がふだんどんなことに苦労して生活し、農作業に励んでいるかの一端が理解できたら、成長したときに農業者を見る目がきっと違っていることだろう。(↑ジャガイモ掘り)



ベネッセで夏休み子ども環境まつり

多摩センターのベネッセコーポレーションの1階で8月18日、夏休みの子どもたちに環境のことを学んでもらおうという「環境まつり」が開かれた。ここには、多摩市環境部も出展し、「環境のワンダーランド」をアピールしていた。出展内容は、水辺の楽校関連の写真パネル、太陽光発電の効果を虫や自動車のおもちゃで紹介、そして木工のクラフトづくりと広いレポーター。



来場客に受けた木工クラフトのコーナー

パネルは水辺の楽校の活動内容、多摩川源流キャンプ、1月に行われた多摩川子どもシンポジウムなどで、9月1日に行われる「勾当川探検隊」のちらしも配布された。質問者には清水代表が対応にあたった。

木のクラフトは輪切りにした太い枝を使って自動車やペンダントなどをつくるもので、その場で木を切っているのも音も含め、来場者の興味を引いていた。隣の部屋では、環境省の生物多様性に関するパネル展示。さらに隣の部屋では多摩エネ協や太陽電池の販売業者などが展示を行い、自転車をこいで発電する装置を置いていた。(右写真)



緑のカーテン 競う



見栄えのよい緑のカーテンができた

庁舎ではできのよい年も悪い年もあったものの、今年は色合いといい高さといい、“荘厳”な見栄えに仕上がっている。



連光寺児童館の作品、奥はカボチャ

一方、東庁舎のグリーンカーテンはまだ窓にまで届ておらず、今年は生育不足に終わりそうな気配だ。



マンションなど一般家庭では

各小中学校でも生徒の手づくりカーテンを競っていることだろうが、連光寺児童館のものがきれいに咲きそろっている。植えられたのはゴーヤ、アサガオ、フウセンカズラなどで、ポットに種をまいて苗に育て、プランターで育てた。フウセンは遊びにも使える。同時に別の窓に向けて植えたカボチャは病気にかかったとのことで、もう枯れかかっていた。

第11回大栗川水辺まつり実施記録

今年7月15日(祝日)に開催された<大栗川水辺まつり>の総括記録が、主催したよみがえれ、大栗川を楽しむ会の相田幸一代表より発表されたので、その一部を転載する。(一部修正あり)

7月15日(月、海の日) 晴れ時々曇り、気温 29℃、水温 25℃ 水質状況 COD4、PH7.5

早く梅雨が明け、35度近くの猛暑が続いて心配されたが、この日は暑さも弱まり大変良いコンディションでの開催となった。

一般参加者は子ども(小学生22人、幼児10人)計32人、保護者・大人26人の合計58人。スタッフ27人(大栗川を楽しむ会、多摩市民環境会議、水辺の楽校、国土館大学、その他呼びかけに応じて参加してくれた方)

来賓:東京都、南東建 今年に参加なし多摩市:阿部市長、浦野環境部長、鈴木環境政策課長、中村環境政策主査、計4人取材:多摩テレビ、2人



試漕に出る母子チームのいかだ

多摩市役所本庁舎に行っておどろいた。正面の庁舎にみごとな「グリーンカーテン」がかかっていたからだ。市では、数年前から教育委員会が音頭をとって「グリーンカーテン・キャンペーン」を始めている。

植えられたものはヘチマとヒョータンで、両方とも約50本ずつ。1階から4階までの規模の大きさでやっている。よく使われるゴーヤは連作できないとのことなので、今回の種類になっているのかもしれない。

各小中学校でも生徒の手づくりカーテンを競っていることだろうが、連光寺児童館のものがきれいに咲きそろっている。植えられたのはゴーヤ、アサガオ、フウセンカズラなどで、ポットに種をまいて苗に育て、プランターで育てた。フウセンは遊びにも使える。同時に別の窓に向けて植えたカボチャは病気にかかったとのことで、もう枯れかかっていた。

見物人:付き添いなど10数名 総勢約100名

9時から受け付け順にライフベストを着用し、9時30分には全員装備を終えて開会式に臨む。挨拶、日程説明、注意事

項の後、川の清掃から実施。20Lのゴミ袋を全員が受け取り周辺と川の中のゴミひろい。短時間でまとめたゴミ袋の数は(45L入りで)3個となる。



川に投げ込まれるのを楽しむ子

続いてメインイベントのイカダ下り。一艇に8個のポリタンクを浮力とした新型イカダ6艇は、3年目の出番だ。前もって一部補強してこの日を迎えた。白木のパドルは24本用意。全員初回の川下り体験と、2回のタイムトライアルを行う。希望者には3回目も実施。

バランスがうまく取れなくて転覆イカダもいくつか出る。それはそれで水の怖さ、バランスの難しさ体験、猛暑の中の水浴び体験など、大いに感じるものがあったはず。細かい乗り方、こぎ方など指導的なことはほとんどしなかったが、3回目のタイムトライアルの時には、ぐんと川下りがうまくなったチームが多かったようだ。

次の川の中の自由遊びは、川の生き物探しとライフベストの効果を楽しむ川流れ・川泳ぎに分かれた。子どもたちが自由に選択して川全域に散った様子はなかなか壮観。スタッフに抱えられ川に投げ込まれるのを楽しむ子ども、川に勢いよく飛び込む子どもも現れ、子どもの自由な楽しみ方が生まれたようだ。

川の生き物探しは明神橋上流部で初めて実施。小魚の遊泳する姿は多く見られたが、捕獲はほとんどできず。「川から上がれ」の合図をしても上がるのを渋る子もいて、もっと続けたい、遊んでほしいとの声が聞かれた。

瓜生ひろばのキャンプ、雨で屋内テント

瓜生小学校の放課後遊び場「瓜生ひろば」では8月21～22日の2日間、米軍のレクリエーション施設・多摩ヒルズで夏休み恒例のキャンプを行った。参加した子たちは男子/女子とも5名ずつ。予定していた2人が直前に風邪をひきキャンセルに。ボランティアスタッフは7名。



子どもたちは現地につくとすぐ薪割りから始め、その割った薪でかまどの火起こしも体験。昼食の焼きそばづくりに貢献した。本来は昼食後にテント張りとなるのだが、この日は夕方から雨の予報が出されていたため、屋外でのテント張りはあきらめ、キッチンのある建物のなかでテントを張るインドアのキャンプ体験となった。だが、自分たちの“居住区”が決まると、子どもたちはそこをベースに男女の別なく大興奮で駆けまわっていた。

午後のショートハイキングで防空壕を見つけ、夜のナイトハイイクでその壕に入ってみようといった案もあったが、予報通り夕方にかけて激しい雨に見舞われたため、中止になった。屋内のテント張りも正解だったし、夜食、朝食を屋内でとるのも初の経験というキャンプだった。



この防空壕のなかには何があるか